

「日本語論文で添削指導を」、「就職で、ぜひ手厚い対応を」

留学生懇談会を開催 国際交流委員会

人文学部の国際交流委員会は、学部の留学生に呼びかけ、26日午後、人文棟3階の留学生室で「留学生懇談会」を開催した。懇談会には、中国、韓国、ロシアなどからの8人が出席、留学生からは、「自分たちの書いた論文を添削する指導員が欲しい」、「就職で手厚い対応を」、「留学生室の空気が悪いので何とかできないか」などの要望があがった。



会合は、7月に続く第2回目で、9月からの入学生が数人おり、初対面のケースもあったため冒頭、8人が自己紹介をした。

これに続き、国際交流委員会が、留学生生活の中で、不便に感じていることや注文などの聞き取りに入った。

参加者からは、「『論文の書き方』などの書籍を昨年、購入いただき助かってい

る」、「留学生室のパソコンは、卒業論文などの執筆で重宝している」などの声が聞かれた。

一昨年購入した液晶テレビは、アンテナ端末とつなぐケーブルが未整備のため視聴できない。このため対応を求める声があがった。

このほか、日本国内での就職を希望する留学生が少なくないことから手厚い対応を求める要望も出た。

終了後には、9月入学生が、室内据え置きパソコンに自分専用の暗証番号などを登録した。次の会合は、来年6月に実施する予定。

(終)

